

小中学校特別活動研究部

I 研究主題

望ましい集団活動を通じた言語活動の充実
—教師の支援をもとにして主体性を育み認め合える学級作り—

II 主題設定の理由

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養うために、学級活動における言語活動の充実が重視されている。

望ましい集団活動とは活動の目標をみんなでつくり、目標達成の方法を話し合って決め、役割分担をして協力すること、つまり学級会活動での事前・本時・事後の一連の活動を指す。学級会において言語活動を充実させるには、教師の適切な支援が必要であるが、どの場面で、どのように実践すれば、児童生徒の主体性を育み認め合える学級作りができるのかを研究するため、本研究の主題を設定した。

III 研究の内容

1. 指導案検討、作成・研究授業

1人1回授業を公開し、指導案作成を行う。課題を踏まえ、6回の研究授業・研究協議を実践する。

7 / 3 (金)	小学校	(6年生)
9 / 15 (火)	中学校	(1年生)
10 / 8 (木)	小学校	(2年生)
10 / 22 (木)	小学校	(6年生)
11 / 13 (金)	小学校	(5年生)
12 / 3 (木)	小学校	(3年生)

2. 小学校特別活動専門研究部の授業参観及び合同研究協議

下記の研究授業を参観し、研究協議会（指導・國學院大學 杉田洋 教授）へも合流させていただき、自分たちの研究に活用した。

7 / 9 (木) 小学校 教諭 (5年生)

3. 研究協議と課題の検討

授業の振り返りにより、話し合い活動の内容、議題の選定方法などの検討を行った。

IV 実践例

実践事例① 平成27年7月3日 所沢市立小学校 第6学年学級活動

第4回 学級活動計画書 7月3日金曜日1時間目		
議題	1学期終業式パーティーをしよう	
提案理由	6年3組は、修学旅行や誕生日会などを通して、クラスで協力し、仲を深めてきました。みんな4月よりも仲良くなったと思います。1学期の思い出を振り返ってみんなが仲良く過ごせたことをお祝いし、2学期さらに団結できるクラスにしたいと思い、提案しました。	
めあて	<ul style="list-style-type: none"> 一人1回は発表しよう。 ・時間を守って話し合おう。 (司会グループより) みんなが気持ちよく話し合えるように努力しよう。 (教師より) 	
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> 日にち：終業式の日、4時間目 場所：多目的ホール 	
話し合いの順序	気をつけること・実際の様子	指導上の留意点(・) 評価(◆)
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確かめ 4 提案理由の説明 5 決まっていることの確かめ 6 めあての確かめ 7 先生のお話 8 話し合い 柱①会の内容を考えよう <話し合いのながれ> ①意見を出し合う ②意見を比べ合う ③意見をまとめる 柱②盛り上がるための工夫を考えよう 10 決まったことの発表 11 振り返り 12 先生のお話 13 おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声ではっきり言う。 自分のめあてを言う。 計画委員で事前に決めておく。 これまでの学級会での様子から、今回の課題を提示する。【みんなが気持ちよく話し合えるように努力しよう＝折り合いをつけよう】 できるだけたくさんの人に発表してもらおう。 賛成意見が出ていないものは、確認してから「ありがとう」の意見として降ろす。 賛成意見が多いものは、確認してから、決定する。【児童が作成した決定マークを用意】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 柱①出た意見 <ul style="list-style-type: none"> 爆弾ゲーム ・お笑い ・レク グループで出し物 ・歌 ・ゲーム 思い出を言う ・マジック </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 柱②出た意見 <ul style="list-style-type: none"> 飾り付け ・音楽を流す 大きなアーチ ・すばやく行動する 盛り上がる言葉を使う 一人一人が心掛ける </div> <ul style="list-style-type: none"> 意見が分かれたときは注目マークをつかう。 意見が分かれたときは、提案理由やめあてに戻って、期日に間に合うか確認する。 ノート記録が決まった事を発表する。 各自、振り返りノートへ記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きい声ではっきりと言えるように、前もって練習させておく。 事前に板書(学級会ノートへ印刷)をしておく。 事前に決まっている事を確認する。 会の日程・場所、準備期間等を再確認させる。 常に、提案理由や話し合いのめあてに戻って、話し合いが進められるように支援する。 学級会ノートに事前に書きこませ、積極的に意見を発表できるようにする。 意見がまとまりにくい場合は、いくつかに絞ってから再度話し合わせる。 話し合いが停滞した時には、計画委員やその他の児童へ個別に声をかける。 <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 決定事項① <input type="checkbox"/>爆弾ゲーム (1学期の思い出を言う) <input type="checkbox"/>お笑い <input type="checkbox"/>歌 <input type="checkbox"/>マジック </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 決定事項② <input type="checkbox"/>飾り付け <input type="checkbox"/>音楽を流す <input type="checkbox"/>素早く行動する <input type="checkbox"/>盛り上がる言葉を使う <input type="checkbox"/>一人一人が心掛ける </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆全員：自分なりの考えを持って話し合いに参加している。〈関〉【ノート】 ◆全員：議題に関心を持ち、積極的かつ協力的に話し合おうとしている。〈思〉【観察】 ◆計画：自分の役割や話し合いの約束を理解して、進行している。〈思〉【観察】 ○考えられなかった児童には、学級会の流れを振り返らせる。 ・実践への励ましと意欲付けを図る。 ・意欲的に発言できた児童、建設的・めあてに沿った意見が出せた児童、司会グループのよかったところをクラス全体で称賛する。

〈成果○と課題●〉

- 学級会の進行表に司会グループの役割ごとや意見出し方の話型を明記し活用したことで、学級会に慣れていて、スムーズに進行することができた。
- 学級会ノートに事前に意見を記入し、教師がコメントを書いて返却したことで自分の意見に自信を持って発表することができた。活発に発言がされていた。
- 発表した人と回数を最後に副司会が発表したことで、発表できた自信につながり、次回も発表したいという意欲につながった。また学級会が好きだという雰囲気が生まれた。
- 比べ合う→まとめるが不明瞭であり、明確な時間設定と司会グループの把握が必要だった。
- 発表は、回数ではなく質で判断する。多数決は、質のない数になり、話し合いの停滞に繋がる。提案理由に戻り、何のための会なのか、その意見は提案理由に沿った必要な意見なのかを考えさせる教師からの声掛け・支援が必要だった。

実践事例② 平成27年9月15日 所沢市立中学校 第1学年学級活動

第2回 学級活動計画 9月15日 火曜日 6時間目		
議題	合唱コンクールを成功させるための作戦を考えよう	
提案理由	今まで1組は、普段の学校生活ではじめをつけて取り組むことや、仲間はずれが出ないような活動を大切にしてきました。そこで今回は、1年の中で1番大きな行事である。合唱コンクールを成功させたいと考えました。アンケート結果から一生懸命練習して悔いのない取り組みができれば合唱コンは成功だとクラスの皆が考えていることが分かりました。そこでその成功に向けて話し合いのねらいと思い、この議題を提案しました。	
ねらい	合唱コンクールを成功させるために、みんなの意見を深め合える学級討議をする。	
決まっていること	特に無し	
話し合いの順序	気をつけること	指導上の留意点(・) 評価(◆)
① はじめの言葉 ② 係の紹介 ③ 議題の確認 ④ 提案理由 ⑤ 話し合いのねらいの確認 ⑥ 決まっていることの確認 ⑦ 話し合い 柱① 「どんな工夫ができるか」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 出し合う 比べあう まとめる </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案理由と話し合いのねらいに沿って、討議が行われるようにクラス全員で確認する。 ・ あらかじめ出た意見を短冊で黒板に貼り、比べあうところからはじめる。 ・ 対立意見が出た場合は、単に賛成・反対ではなく、折り合いの付けられそうな解決策を探らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 出た意見 ○しっかり歌える人が各パートの端に来る○声が出る人を後列にする○指示が出たら大きく返事をする○その日の目標を考える○練習前に円陣を組む○気合いを入れる </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に書かせた意見を短冊に書かせ黒板に貼らせる。 ・ 議論が行き詰ったり、対立意見でもめている場合は、適宜司会に助言を加え議論がスムーズに進行するようにする。 ◆ 積極的に討議に参加し、自分の意見を発表することができる。 ◆ 互いの意見を認め合いながら、具体的な改善案を求めて意欲的に意見を述べることができる〈発言・観察〉 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 決定事項 ○しっかり歌える人が各パートの端に来る○声が出る人を後列にする○指示が出たら大きく返事をする○その日の目標を考える○気合いを入れるため、練習前に円陣を組む (出た意見、全て採用となった) </div>
柱② 「どんな係が必要か」 ⑧ 決定事項の確認 ⑨ 振り返り ⑩ 先生の話 ⑪ 終わりの言葉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 出た意見 ○パートリーダー補佐係○CD・機会準備係○目標設定係○課題設定係○掲示物係 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノート記録の人に発表してもらい、クラス全体で確認する。 ・ 話し合いを通して、今後の自分の意気込み画持てるようにする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 決定事項 ○パートリーダー補佐係 ○目標設定・課題修正係 ◆決定事項を受け止め、今後の活動へとつなげようとしている(知)〈ノート記録〉 </div>

〈成果○と課題●〉

- 出た意見をグループ分けすることで話し合いが効率よく進めた。
- 合唱のパートという立場の違う人の意見を聞くことで、議題に対しての考え方が変わる場面が見られ話し合いが深まった。
- なかなか発言できない子のつぶやきが、クラス全体で共有できるような気配りや声かけ等の意識を高めた。
- 可視化することで、全ての子がイメージを共有できる手立て。

実践事例③ 平成27年10月8日 所沢市立小学校 第2学年学級活動

議題	2の1のいいところポスターをつくらう (提案者)・・・	
提案理由	2の1は、みんなげん気で明るいクラスです。かかりのかつどうやおそうじをきょうカしてがんばっています。4年1くみでは、クラスのいいところをポスターにしてろうかにかざっていると聞きました。2の1にもいいところがたくさんあります。みんながクラスのいいところをはっけんできたら、2の1のことをもっとすきになってなかなよくなれると思います。そして、みんながもっと心をひとつにしてがんばれるクラスにしたいと思い、ていあんしました。	
めあて	2の1のいいところがはっけんできて、みんながクラスを今までよりもっとすきになれるようなポスターのくふうを考えよう。	
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのじこしょうかいを入れる。 ・紙は、もぞう紙1まい分 ・まん中に、「いいところ」を入れる。 	
話し合いの順序	気をつけること	指導上の留意点(・) 評価(・)
1 はじめの言葉 2 司会グループの紹介 3 議題の確認 4 提案理由の発表 5 話し合いのめあての確認 6 決まっていることの確認 7 話し合い 柱①2の1のいいところを決めよう <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ① 比べ合う ② まとめる </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなのやる気が高まるように大きな声で言う。。 ・自分のめあてを言って、自己紹介をする。 ・みんなに分かるようにはっきりと言う。 ・劇で発表する。 ・声をそろえてはっきり言う。 ・先生に話してもらう。 <ul style="list-style-type: none"> ・意見が出ているので、比べ合うから始める。 ・賛成・反対を出してもら。「まとめる」の時間になってから決定する。 ・「まとめる」の時間になって、賛成も反対も出ていない意見は、皆に確認して、意見がなければ取り下げる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 事前に出た意見 <ul style="list-style-type: none"> ・仲良しなところ・けんかをしないところ ・元気なところ・楽しいところ・明るいところ ・素直なところ・外で遊ぶところ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <p>柱①は、「クラスのいいところ」が話し合いの柱であるが、途中で「こんなクラスにしたい」という賛成理由も出た。教師の助言により整理していく必要がある。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に議題や提案理由を提示しておく、意欲を持てるようにする。 ・提案者の願いや思いをもとに、学級全体の願いとして話し合えるように支援する。 ・あらかじめ決まっていることを確認し、共通認識を持った上で話し合いが進められるよう助言する。 ◆活動計画に基づき、よりよい学級づくりに向けて考え、意欲的に話し合っている。 ◆友達の意見も聞きながら、提案理由や学級全体を意識した発言をしている。(思考・判断・実践)【観察・学級会ノート】
柱②みんなに見てもらえる工夫を考えよう <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ① 出し合う ② 比べ合う ③ まとめる </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いがずれてきた時は、提案理由をもう一度確認して、提案理由に沿った意見を出してもらようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 出た意見 <ul style="list-style-type: none"> <u>色の工夫</u>・クラスカラー(赤)にする・目立つ色にする・カラフルにする ・折り紙で明るい色にする <u>飾り付けの工夫</u>・飾りをつける・絵を入れる・キャラクターをたくさん書く <u>その他の工夫</u>・休み時間にお知らせする・ランキングにする・矢印をつける </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆司会グループの仕事や、クラスの一員として、意欲的に話し合いに取り組もうとしている。(知識・理解)【観察】

<p>柱③役割を決めよう (時間がなかったため、本時では話し合いを実施せず、学級の時間に)</p> <p>8 決まったことの確認 9 話し合いの振り返り 10 先生の話 11 おわりの言葉</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>決まったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスカラー（赤）にする・カラフルにする ・飾りをつける・絵を入れる・キャラクターをたくさん書く ・休み時間にお知らせする・ランキングにする・矢印をつける </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>柱②では、「絵を描くとカラフルにするスペースが足りなくなるのでは？」という質問に対して、「他の紙に描いて貼れば、色もぬれるし絵も描ける」と、解決策を出して折り合いをつけていた。望ましい児童の発言や、話し合いを進めた意見は、終末の話で教師がしっかりと取り上げ、称賛していき、次の話し合いのレベルアップにつなげていきたい。</p> </div>
--	--

〈成果○と課題●〉

- 子どもたち一人ひとりが「クラスをつくる一員」との思いが芽生えてきたことである。
- 一方で、低学年という発達段階もあるが、本時の話し合いのイメージ共有が難しいという課題があげられる。
- 子どもたちが話し合いの中でお互いの意見をよく聞き、質問し、理解し合いながらイメージを共有し、本時のめあてや提案理由に迫れるように力をつけさせたい。そのためには、教師の言語活動への支援は必要不可欠になる。
- また、話し合いの要である議題や柱立てについても、児童の実態を踏まえた適切なものになっているのか研究する必要がある。

実践事例④ 平成27年10月22日 所沢市立小学校 第6学年学級活動

第6回 学級活動計画 10月22日 木曜日 5時間目		
議題	運動会がんばったねパーティーをしよう	
提案理由	運動会まで練習に一生懸命取り組み、休み時間もいろいろな役割でみんなががんばってきました。そこで、全力を出してがんばったみんなで楽しく盛り上がり、次の大きな行事、音楽会なども協力してがんばれるようなレクをしたいと思ったからです。	
ねらい	みんなで楽しく盛り上がり、次の音楽会なども協力して頑張れるようなレクの内容を考えることができるようにする。	
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・日時・場所…10月27日（火）5時間目 体育館 ・内容を2つ決める。 ・工夫は実現できるものならいくつ決めてもよい。 	
話し合いの順序	気をつけること	指導上の留意点（・） 評価（◆）
① はじめの言葉 学級会コール ② 計画委員の紹介 ③ 議題の確認 ④ 提案理由の説明 ⑤ 決まっていること、話し合いのめあての確認 ⑥ 話し合い 柱① 「どんな内容にするか」 出し合う 分かり合う まとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声ではっきりと言えるようにする。 ・全員で元気よく学級会コールをし、学級会の約束事を確認して始められるようにする。 ・議題、提案理由、決まっていること、話し合いのめあてを全員がしっかりと共通理解できるようにする ・あらかじめ出た意見を短冊で黒板に貼り、「分かり合う」からはじめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>柱①出た意見</p> <p>【おにごっこ系】</p> <p>○おにごっこ○かくれおに○全員おに</p> <p>○ドロケイ○しっぽとり</p> <p>【ドッジボール系】</p> <p>○ドッジボール○ダブルドッジボール</p> <p>○四面ドッジボール</p> <p>【その他】</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気です話し合うために、元気よく始められるよう助言する。 ・計画委員は、めあてをもって役割を果たせるよう事前に指導する。 ・提案理由やめあて、決まっている条件を意識して話し合いができるよう、全体に指導する。 ・事前に書かせた意見を短冊に書かせ黒板に貼らせる。 ・司会が困っている時や話の方向が逸れた時、よりよい話し合いの仕方を学ばせたい時は、積極的に助言する。 ・できるだけ多くの児童が発言するために、発言者が偏らないよう助言する。 ・なかなか発言できない児童や話し合いに進んで参加できない児童には、個別に助言する。 ・なかなか決定しない時や安易に多数決にする時

柱② 「どんな工夫をするか」 柱③ 「どんな役割が必要か」	○バスケットボール○卓球○缶けり○ 巨人さんが転んだ	などは、めあてや提案理由に立ち返り、考えることができるように支援する。 ◆みんなが楽しく盛り上がるレクの内容を考え、進んで発言しようとしている。(関心・意欲・態度)【発言・観察】 ◆提案理由を踏まえて、自分の意見を考え発言している。(思考・判断・実践)【発言・観察】
	柱②出た意見 ○1人1つ仕事○ルールを工夫○時間を決める○ルールなどを事前に説明しておき時間短縮○運動会を振り返って各係から一言ずつ 柱③出た意見 ○司会○はじめの言葉○終わりの言葉 ○チーム分け○ルール説明○感想発表 ○準備	決定事項① ○かくれおに○ドッジボール 決定事項② ○1人1つ仕事○ルールを工夫○時間を決める○ルールなどを事前に説明しておき時間短縮○運動会を振り返って各係から一言ずつ(出た意見全て採用)
⑦ 決まったことの確認 ⑧ 振り返り ⑨ 先生の話 ⑩ 終わりの言葉	・ノート記録が短くまとめて発表し、クラス全体で確認できるようにする。 ・自分のことを学級会ノートに振り返る。 ・全員がきちんと話を聞けるようにする。 ・大きな声ではっきりと言えるようにする。	

〈成果○と課題●〉

- 事前に児童が書いた学級会ノートに教師が目を通し、花丸や助言、励ましを入れて返すことで、学級会の際に少しずつ自信をもって発表できるようになった。
- 発表の基本的な話型を活用することで、自分の考えを伝える力を高めることができた。
- 提案理由や既に決まっていること、話し合いのめあてを明確に示すことで、それらに沿って考え、自分の意見をもつことができるようになり、クラス全体としてもより深い話し合いができるようになった。
- 相手の意見を受けて、自分の意見を述べられる児童も増えた。
- よりよいまとめ方まで児童が自ら考え、折り合いをつけてまとめられるようになった。
- 回数を重ねるにつれ、クラス全体の学級会への意欲が高まり、自主性や主体性の育成を図ることができた。
- 提案理由の提示を工夫して行えるようにしたい。
- 時間内に柱すべての話し合いがまとまるようにしたい。
- 柱①「何をするか」の話し合いよりも、柱②「どんな工夫をするか」の方にできるだけ重きを置いた話し合いができるようにしたい。

実践事例⑤ 平27年11月13日 所沢市立小学校 第5学年学級活動

第8回 学級活動計画書 11月13日金曜日1時間目		
議題	本を楽しむ取り組みを考えよう	(提案者)
提案理由	①アンケートの結果、本を好きな人は多く平均にすると結構読んでいます。ですが、グラフにしたら平均より少ない人が多いことが分かりました。 ②行事を通して、クラスの仲が深まりました。クラスで協力しながら本を楽しみながら読んでもらいたいです。 ③本を読むことで内容を伝え合ったり同じ役割の人と協力することで仲がさらに深まります。	
めあて	一人ひとりが本を楽しみ、クラスで協力できるような取り組みを考えよう。	
決まっていること	・11月25日～12月22日まで行う。 ・話し合うこと①ではするものを、②ではするものの工夫、③では役割について話し合う。	

・自分たちのできるものを選んでいく。		
話し合いの順序	気をつけること	指導上の留意点(・)と目指す児童の姿(☆)、具体的な指導方法(→)
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確かめ 4 提案理由の説明 5 めあての確かめ 6 話合うことの確かめ 7 決まっていることの確かめ 8 先生のお話 9 話し合い ①本を楽しむためにする取り組み <話し合いのながれ> ①意見を出し合う ②意見を比べ合う ③意見をまとめる  ②工夫 <話し合いのながれ> ①意見を出し合う ②意見を比べ合う ③意見をまとめる ③役割 10 決まったことの発表 11 振り返り 12 先生のお話 13 おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声ではっきり言う。クラスの合言葉を言う。 ・自分のめあてを言う。 ・アンケート結果をもとに分かりやすく説明する。  <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけたくさんの人に発表してもらう。 ・賛成意見が出ていないものは、確認してから下ろす。 ・意見の多いものは決めていいか聞く。 ・賛成意見が出ていないものは、確認してから下ろす。 ・意見が分かれたときは注目マークをつかう。 ・意見が分かれたときは、提案理由やめあてに戻って、期日に間に合うか確認する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書ポイントカードを作る ・本に関係したかざりつけをする ・本作り ・しおりを作る ・ブックカバーを作る ・目標を決める ・図書委員のおすすめの本を月ごとに書いていく ・読書の木を作る ・感想を詩にする ・みんなのおすすめの本を紙にはっていく </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【ブックカバーを作る】 ・オリジナルの絵</p> <p>【目標を決める】 ・一週間で5冊読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日に何冊か決める ・ページのことも考える ・目標を越えたらさらに増す <p>【みんなのおすすめの本を紙にはっていく】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想や面白かったことを書く ・内容も書く </div> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな役割がいるか、意見を聞く。 ・役割ごとに何人ぐらい必要か、確認する。 ・ノート記録が決まったことを発表する。 ・3人ぐらいに発表してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割を自覚し、自信を持って進行できるように声をかける。 ☆自分の役割を進んで行うことができる。(関・意・態) →個々の仕事の様子に目を配り、困っているときにはすぐに手助けをする。 →進んで仕事ができているところをすぐに褒める。 ・本を楽しむ取組に対する意欲を高め、カレンダーや決まったことの確認を再度して、実際にするときのことを考えさせる。 ・同じ人の発表が続くときは、他の人にも意見を聞くように助言する。 ・自分の意見を言えるように、個々に声をかけて励ます。 <ul style="list-style-type: none"> ・役割決めでは、希望が分かるように名札を使って行う。 ☆友達の見方の良さに気づくとともに、より良くしようと意欲を出している。(思・判・実) →個人ノートを見させて、理由を確かめさせる。 →友達の見方をよく聞かせる。 ・ねらいについて適切な評価をする。 個々の児童、計画委員のよさや頑張りを十分に認め、称賛する。前回と比べてよかったところ、今回よかったところ、次回の課題を話す。

〈成果○と課題●〉

- 学級会を重ねるごとに、学級活動の楽しさを知り、意欲的に取り組むようになった。
- 司会グループでは、輪番制により一人ひとりに活躍の場があり、自己有用感を与えることができた。
- 自分の考えや意見だけを出していくのではなく、「提案理由」や「めあて」を意識できるようになってきた。また、他教科でも自分の意見に理由をつけて発表するようになった。話を聞くときも話す人の方を見て聞くようになった。

○提案理由も、言葉だけでなくアンケート結果をまとめて説明することで、なぜこの議題で話し合わなければならないのか、全体の理解につながった。

●課題として、折り合いのつけ方がまだ不十分なので、反対意見に対して説得や納得がいくように意見を言えたり、クラスの雰囲気を見て考えられたりできるようにしていきたい。

●本時だけでなく、事前・事後も言語活動を意識した活動を計画的に行いたい。また教師の助言や支援はどこまでしていいのか、更に研究を進めていきたい。

実践事例⑥ 平成27年12月3日 所沢市立小学校 第3学年学級活動

第10回 たいよう33会議 活動計画書 12月3日木曜日 5時間目		
議題	2015冬休み前ミニオリンピック大会をしよう。	
提案理由	寒くなってきて、外に出る人が少なくなりそうだから、みんなで寒さにまげずに元気にスポーツをしたいから。また今年ののさいごにみんなでもりあがって、きずなを深めたいから。	
めあて	「たいよう33」のクラス目ひょうをたっせいできるような会にしよう。	
決まっていること	①12月24日 木曜日 1時間やる ②スポーツ1つ 遊び1つやる	
話合いの順序	実際の様子	言語活動を充実させるための手立て
1 はじめの言葉 クラスの歌を歌う 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認 5 話し合いのめあて		研究員の実践の反省より「提案理由」や「めあて」が一目でわかるような工夫をすることを意識した。そうすることで、困った時に立ち戻るべき指標ができ、言語活動を一層充実させることができるようになると考えた。
6 決まっていること 7 先生の話 8 話し合い (柱1) どんな活動をするか。	<p>前回の話し合いの課題「反対意見だけ言うのではなく、賛成意見も付け加えて言えるようにしよう。」を意識するよう指導した。</p>	
スポーツ サッカー ポートボール キックベース リレー ドッジボール など 遊び ドッジボール じゃんけん列車 指ずもう いつ、どこで、だれが、何をしたら ケイドロ		これまでの実態から「何をするか」で時間がかかってしまうので、「工夫」をじっくりと話し合うために、事前に「めあてや提案理由を達成できそうなものにシールを貼ろう」と促し、それぞれの立場を可視化した。
(柱2) 会を楽しくするための工夫		
スポーツ 試合前に円陣を組む 一生懸命応援する。 賞状を作る。 遊び グランプリを決める くじでグループを決める。 テーマを決める (決まったことのみ掲載)		司会グループとの共通のハンドサインを定めておき、「こんな時にはこんなサインを出すから、先生を見てね」と話をした。なるべく教師が全体の場に出ていくのではなく、「児童による、児童を中心とした話し合い」ができるようにした。
<(柱3) 必要な役割>		
9 決まったことの発表 10 話し合いのふりかえり 11 先生の話 12 おわりの言葉		毎時の話し合いで生まれた「成長した姿や望ましい発言」を後ろに掲示をしておき、年間を通して話し合いを育てていく。

〈成果○と課題●〉

○事前にアンケートを取っておき、また賛成意見にシールを貼っておいたので今、みんなは何に賛成しているのか」が明確になった。また、そこから集団決定に向けてもスムーズに決まった。

○司会グループと何度も打ち合わせをし、困ったときには教師からハンドサインを出して話し合いを進行できるようにしたので司会グループを中心とした主体的な話し合い活動を進めることができた。

●準備に時間がかかること

●1時間で役割まで決めきれなかった。

●年度当初から本時に向けて行ったような準備を徹底し、少しずつ児童だけで、または児童を中心とした準備ができるようにすること。また話し合いのパターンを確立していくことが重要だと考えた。

V 成果と課題

今回の研究実践を通して、言語活動の充実は、事前、本時、事後の3つの場面でどのように行えばよいのかを研究した。

事前の活動では、議題箱による議題の選定、絵や劇、アンケート結果を使った提案理由の説明、学級会ノートの記入などの活動を通して、話し合うことについて考えたり、情報を収集したりして、自分の考えをまとめるなど児童が問題意識をもつようになった。

本時の活動では、三段階討議法を基礎として、学級会グッズを活用しながら行った。司会の進行の補助や、相手を説得したり、折り合いをつけたりする意見の出し方など、相手を意識した活動を行うことで、話し方、聞き方の向上につながった。

事後の活動では、話し合ったものを形にするために、確認をしたり、改善を図ったりすることで、目標達成のために協力し、事後の振り返りや評価を行うことができた。

また六校に渡って研究授業を行えたことにより、以下の成果や課題を得ることができた。

1. 成果

- ・他校の授業を見る回数が多く、進行の仕方、学級会グッズなど自身の学級との違いを比べながら実践することができた。
- ・研究授業の回を重ねるごとに、研究協議で出た課題を意識して授業を行うことができた。
- ・授業の回数を重ねるごとに、学級の問題を考えようとする児童が増え、学級を自分たちで作っていかうとする力が育ってきた。

2. 課題

- ・時間内に終えることができなかった授業が多かった。時間を教師が意識して行えるように意識するとともに改善が必要である。
- ・共通理解を徹底する必要がある。話し合い活動の柱①何をするか、②どのようにするか、③役割分担の3つに分けて行う場合に①と②が同じような内容であると意見がまとまらず、話し合いがまとまらない。また、児童の共通理解がないと、教師も適切な助言、支援が行えない。
- ・事前・本時・事後の活動の中で、言語活動を充実させる取り組みを行ったが、教師の声かけをどこまで行えばよいのか、課題として残った。

参考文献

「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編」(文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター)